

建築設計競技 EUROPAN における公共建築の設計者選定手法に関する研究 その1：設計者が関わる前段階の運営体制

Study on Methodology for Selection Architects for Public Building in EUROPAN Part 1: The preliminary stage management system before the participation of architects

D：建築計画 8. 建築社会システム 1. 建築社会システム

建築設計競技 EUROPAN 公共建築
設計者選定手法 運営体制

準会員 ○梅田 怜緒 * Reo Umeda
正会員 脇坂 圭一 ** Keiichi Wakisaka
同 恒川 和久 *** Kazuhisa Tsunekawa
同 西山 雄大 **** Yudai Nishiyama

1. 研究の概要

1-1. 背景と目的

公共建築の老朽化や人口減少による財政負担の軽減から統合や廃止、合築しようとする動きがみられる^{文1)}。公共施設における入札方式の割合が約7割であることから質の高い公共建築の調達のための設計者選定手法に関する議論も増えてきており、制度や運営上の課題が明らかになってきている^{文2)}。その一つとして、欧州各国と比べ、我が国では若手建築家が公共建築の設計に参入するための機会が乏しいことが挙げられる^{文3)}。

本研究では、若手建築家が公共建築に参画するためのシステムとして機能している建築設計競技 EUROPAN に着目し、多国間の協働で行われる設計競技の運営体制を把握することを目的とする。

1-2. 既往研究の到達点と本研究の位置付け

仙田は、入札による選定の蔓延により若い設計者、デザイナーに公共施設設計のチャンスをつかむ場を提供できていないことに警鐘を鳴らした^{文3)}。

山日、小野田ら^{文4)}は、フランスとドイツにおける企画、

設計者選定手法、報酬規定の段階で公共建築の質を担保するシステムがあることを明らかにした。

渡辺、小澤ら^{文5)}は、建築設計競技 EUROPAN を対象にテーマ・敷地選定の特徴を整理し、欧州における都市の課題を明らかにした。

一色、脇坂ら^{文6)}は、西尾市内の生涯学習施設として利用者の意向調査を行い、機能による利用しやすい空間づくりが求められていることを明らかにした。

望月、脇坂ら^{文7)}は、コンペ方式を普及させる手法として支援組織との協働体制の有効性を示した。

本研究は、EUROPAN における欧州での具体的な運営体制を明らかにしようとする点で他の研究とは異なる。

2. 研究対象と研究方法

2-1. 本研究の対象

EUROPAN は、1972 年～1987 年にフランスで実施されていた前身の PAN^{注1)}を基に発展したものである。EUROPAN になり、欧州全域が敷地となった。フランス政府内の環境連帯移行省、文化省、高等教育・研究・イノベーション省の PUCA^{注2)}と呼ばれる省庁間プログラムの

表 1. E1 から E17 までの開催回ごとの支部の参加の変遷

	開催回	通し番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計 (支部) ○	計 (支部) △	
		支部	フランス	スペイン	ドイツ	オーストリア	ベルギー	イタリア	オランダ	スウェーデン	スイス	フィンランド	クロアチア	ノルウェー	ハンガリー	ポルトガル	ポーランド	ギリシャ	イギリス	エストニア	デンマーク	ラトビア	アイランド	キプロス	コソボ	スロバキア	スロベニア	チェコ	ブルガリア	トルコ	ユーゴスラビア	ルーマニア			
		期間																																	
E1	1989. 1-1990. 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	0
E2	1990. 1-1991. 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	0
E3	1992. 1-1994. 6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	0
E4	1994. 7-1996. 12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	5
E5	1997. 1-2000. 6	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	△	12	7
E6	2000. 7-2002. 12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	15	4
E7	2003. 1-2004. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	17	2
E8	2004. 5-2006. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	4
E9	2006. 6-2008. 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	17	5
E10	2008. 6-2010. 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3
E11	2010. 6-2012. 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	14	3
E12	2012. 6-2015. 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	13	3
E13	2015. 3-2017. 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
E14	2017. 2-2019. 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0
E15	2019. 2-2021. 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
E16	2021. 4-2023. 3	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	3
E17	2023. 3-2024. 12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
計 (回) ○		17	17	17	16	17	16	16	15	14	13	12	11	0	9	3	7	5	3	4	2	3	0	1	0	3	1	0	1	1	0	参加支部			
計 (回) △		0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	9	0	6	0	0	2	0	2	0	3	2	3	1	3	3	0	0	1	補助支部			

* 静岡理科大学 理工学部建築学科 学部生

** 静岡理科大学 理工学部建築学科 教授・博士 (工学)

*** 名古屋大学大学院工学研究科 教授・博士 (工学)

**** 静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科 特任助手・博士 (工学)

Student, Department of Architecture, Shizuoka Institute of Science and Technology.

Prof., Department of Architecture, Shizuoka Institute of Science and Technology, Dr. Eng.

Prof., Graduate School of Engineering, Nagoya University Dr. Eng.

Specially Appointed Assistant, Faculty of Design, Shizuoka University of Art and Culture, Dr. Eng.

一部である^{文8)}。これまでに1～17回(E1～E17)開催され、欧州全体50ヶ国の内、30ヶ国で実施した(表1)。EUROPANは各国に支部を配置していて、毎回設計競技に参加する支部が変化していた。また、参加支部の他に補助の立場として他国と合同して参加する支部があった。9～17ヶ国が毎回関与し、最も支部が多く参加したのはE7とE9の17ヶ国であった(表1)。本研究では、全17回に参加する5か国の内、選定される敷地数の多いフランス・スペイン・ドイツの3か国^{注3)}を対象として比較を行う(表1)。

2-2. 本研究の方法

本研究の方法を以下に示す。

1) 文献調査:EUROPAN発行による「EUROPAN 1 TO 6 NEGOTIATED PROJECTS」:European Europe、「EUROPAN RESULTS 8～17」:European Europe、EUROPAN公式HP^{文9)}resources-bookstoreで確認できた「european manifesto-guide for PROJECTS-PROCESSES」:European Europe(表2)、同上HPの内容、MINISTRE DE LA CULTUREの公式HP^{文10)}を対象とし、開催回ごとの支部の参加の変遷(表1)、組織体制(図1)本部かつ支部のメンバーとその経歴(表4、表5)、審査員における役職の変遷(表6)、テーマの決め方(図2)、テーマと敷地の関係性(表7)により運営体制を明らかにした。

2) ヒアリング調査:本部で出版物や人事、実施プロセスに事務の立場として関わるFrançoise Bonnat氏に対してメールによってヒアリング調査した^{注4)}。内容を以下に示す(表3)。

3. EUROPANに関わる組織からみた運営体制

1) 組織全体の構成、2) 本部、支部、審査員の構成をみることで運営体制を明らかにした。

3-1. E17のEUROPANの組織全体の構成

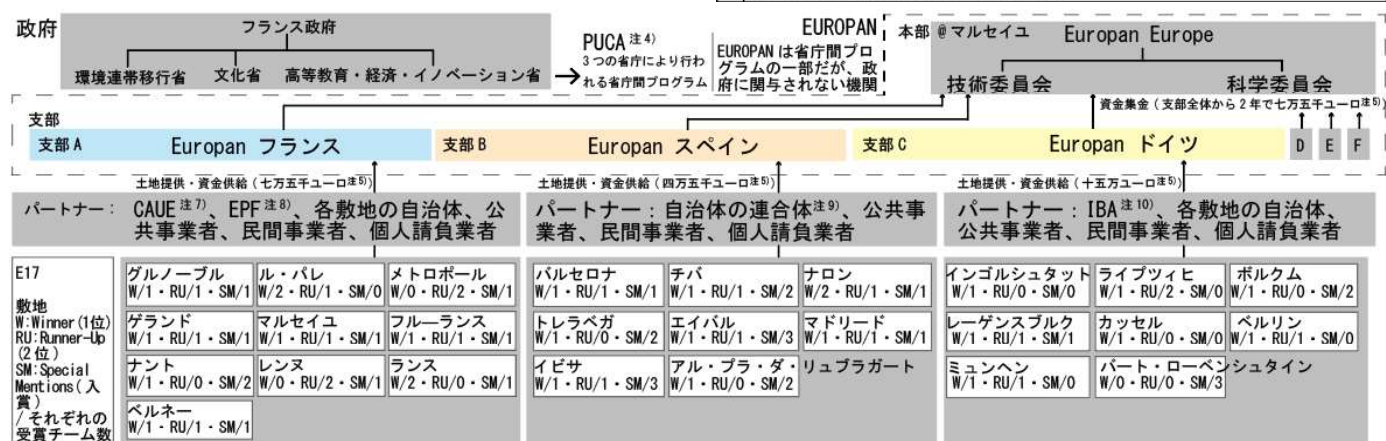


図1. EUROPANの運営体制とE17の敷地に対する受賞チーム数

以下にE17のEUROPANに関わる組織を示す(図1)。フランスのマルセイユに本部を置くEUROPANは、各国に支部を配置して運営していた^{注6)}。本部は設計競技に参加する各支部から2年間で合計七十五万ユーロの資金を集め、活動資金としていた。また、各国の支部には協力関係にあるパートナーが存在し、パートナーは支部に土地提供や資金供給を行っていた。例えば、フランスのパートナーは七万五千ユーロ、スペインは四万五千ユーロ、ドイツは十五万ユーロを提供していた。フランスのパートナーには、CAUE^{注7)}とEPF^{注8)}があり、CAUE^{注7)}は公的機関の管理下でありながらも民間の立場としたアドバイザー機関であった^{文11)}。EPF^{注8)}は土地管理を行う公的機関だった。スペインでは自治体の連合体^{注9)}が組織されており、ドイツでは政府主導のIBA^{注10)}という機関がパートナーとなっていた。このように、支部ごとに異なるパートナー機関が支援していた。各国の都市ごとに敷地が設定され、受賞チームが選ばれていた。図1には例としてE17の敷地を示した。フランスのメトロポールやレンヌ、ドイツのバート・ローベンシュタインのように1位が選定されなくて2位や入賞の数が多くなることやフランスのナント、スペインのトレラベガ、アル・ブラ・ダ・リュブラガートのように2位が選出されない場合もあり、受賞数は敷地ごとに異なっていた。

このように、EUROPANは各国のパートナーによる土地提供と資金供給を基盤としていた。

3-2. 本部メンバーの経歴

本部のメンバーは以下の3つのグループで構成されて

表3. ヒアリング項目

調査項目
1 EUROPANの運用に行政が関わっているのでしょうか。
2 設計競技を運用する資金はどこから出ているのでしょうか。
3 テーマはいつ誰がどのように決めているのでしょうか。
4 敷地ブリーフはいつ誰がどのように決めているのでしょうか。
5 審査員はいつ誰がどのように決めているのでしょうか。
6 テーマは開催回ごとと変わるが参加条件は変わらないのでしょうか。
7 EUROPANは若手建築家が公共建築に参画するための機会となっているのでしょうか。
8 実際に竣工した建物の割合はどのくらいでしょうか。
9 若手建築家を育成するための機関CAUEはフランスだけです。他国にも同じようながあれば、どのような機関があるのでしょうか。

いた（表4）。1）EUROPANの運営を担う European Europeのメンバー4人、2）各種専門家から成る科学委員会のメンバー6人、3）技術委員会のメンバー4人であった。専門分野別の内訳は、1）建築家7人、2）ランドスケープ1人、3）都市計画2人、4）エンジニア0人、5）その他の分野の専門家4人であった。男女比は、男性8人、女性6人だった。また、博士号の学位を有する専門家は14人中6人で、行政関係者は含まれていなかった。

3-3. 支部メンバーの経歴

支部のメンバーも本部メンバー同様に構成を明らかにした（表5）。支部のメンバーは、1）建築家6人、2）ランドスケープ1人、3）都市計画0人、4）エンジニア1人、5）その他2人から構成されていた。その内、男性メンバー4人、女性メンバー6人であった（表5）。

3-4. 本部メンバーと支部メンバー

本部のメンバーと支部のメンバーを合わせた総メンバーは、1）建築家13人、2）ランドスケープ2人、3）

表4. EUROPAN 本部のメンバーとメンバーの経歴

性別	建築	ランドスケープ	都市計画	エンジニア	その他	Ph. D	経歴
M					○		European president, Director ETSAM, Polytechnic University of Madrid
M	○						European general secretary, architect, teacher
F					○		Publications, implementation processes, association, human resources
F					○		Website, communication, events
(人)	1	0	0	0	3	0	
M			○			○	Ph.D in architecture, urban planner, professor - Madrid (ES)
F	○						Architect, Artgineering, teacher - Graz (AT)
F		○				○	Ph.D in architecture, landscape architect, LANDLAB - Barcelona (ES)
M			○			○	Ph.D in architecture, urbanist, Associate, Professor - Cyprus (CY)
M	○						Architect, StudioVlayStreeruwitz, teacher - Wien (AT)
F					○	○	Psychosociologist, Ph.D. in philosophy, searcher, professor - Paris (FR)
(人)	2	1	2	0	1	4	
F	○					○	Architect, Ph.D in architecture, professor - Paris (FR)
M	○						Architect, urban planner, Gutiérrez-delaFuente Arquitectos - Madrid (ES)
M	○						Architect, DOCEXDOCE Architecture Competition founder - Barcelona (ES)
M	○					○	Architect, Ph.D candidate in architecture and teacher - Paris (FR)
(人)	4	0	0	0	0	2	

表5. EUROPAN 支部のメンバーとメンバーの経歴

性別	建築	ランドスケープ	都市計画	エンジニア	その他	Ph. D	経歴
M				○			Engineer polytechnique, president
F	○						Architect, urban planner, general secretary
F					○		Project manager
M	○						Architect, communication and valorization manager
(人)	2	0	0	1	1	0	
M					○		General director of Architecture, Housing
F	○						Architect, secretary
F	○						Architect, deputy secretary, implementations
(人)	2	0	0	0	1	0	
M	○						Architect, president
F	○						Architect, professor for urban planning, secretary
F		○					Landscape architect, company secretary
(人)	2	1	0	0	0	0	

都市計画2人、4）エンジニア1人、5）その他6人であった。その内、男性メンバー12人、女性メンバー12人と均等な構成であった。

これらより、分野が多岐にわたるメンバーであり、男女比が均等に構成されていた。また、本部では学位を有する者が6人いたのに対し、支部では0人であった（表4、表5）。

3-5. 審査員の経歴

以下に審査員における役職の変遷を示す（表6）。まず、各支部には7～9人の審査員が配置されていた。そのうち、自国以外の外国籍審査員を2～3人含めることが規定されていた^{文9)}。審査員の役職は表2「EUROPAN 8～17 RESULTS」に基づき、建築家、施主、記者、自治体の代表者、建築家（予備）に分類できた。各支部とパートナー関係にある施主や記者、自治体の代表者が審査員として参加しており、行政関係者も審査員として関わっていることが確認できた。また、建築家が審査会に参加できない場合に備え、建築家（予備）の枠が設けられていた。さらに、E12以降ではパートナーである施主や記者の役割がなくなる一方で、建築家の人数が増加していた。

4. テーマの決め方とテーマと敷地の関係

1）EUROPANのテーマの決め方、2）テーマと敷地の関係性をみることで運営体制を明らかにした。

4-1. テーマの決め方

以下にテーマ決定の手順をまとめた（図2）。まず、本部が各国の支部に対してそれぞれの国における課題をテーマとして問い、各支部はそれに基づいてテーマを提案した。その後、本部が提案されたテーマを収集し、審査会を開催していた。審査会では、科学委員会と技術委員会によるテーマの比較分析が行われ、その上で支部の

表6. 審査員における役職の変遷

	建築家			施主			記者			自治体の代表者			建築家（予備）		
	フランス	スペイン	ドイツ	フランス	スペイン	ドイツ	フランス	スペイン	ドイツ	フランス	スペイン	ドイツ	フランス	スペイン	ドイツ
支部															
E8	4	7	5	2	1	1	2	2	2	1	2	1	2	1	6
E9	4	4	5	2	1	1	2	3	2	1	1	1	2	1	4
E10	4	5	7	2	2	1	2	1	2	1	1	1	2	0	4
E11	4	5	5	2	2	1	2	3	2	1	1	1	2	1	2
E12	6	6	6							1	1	1	2	0	0
E13	6	6	6							1	1	1	3	0	0
E14	8	8	7							1	1	1	3	1	2
E15	6	8	8							1	1	1	2	1	2
E16	8	8	8							1	1	1	2	1	1
E17	8	9	8							1	1	1	2	0	2

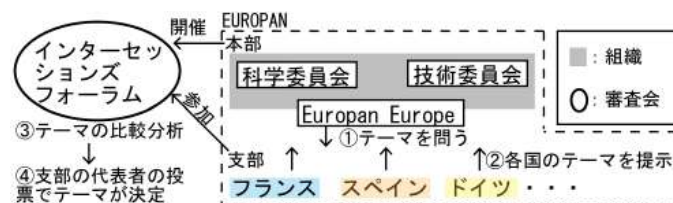


図2. EUROPANにおけるテーマ決定の手順

代表者が投票を行い、最終的なテーマが決定されていた。

4-2. テーマと敷地の関係性

E17 を例にテーマと敷地の関係性を示す（表 7）。各開催回では全体のテーマが提示され、E17 ではさらに 3 つのサブテーマが設定されていた。なお、サブテーマの数は開催回ごとに異なっていた。各サブテーマに対応する敷地が各国の支部ごとに設けられ、E17 ではフランスで 10 都市、スペインとドイツでそれぞれ 8 都市が敷地として選定されていた。

5. 総括

本研究で明らかになったことを以下に示す。

- 1) パートナーからの土地提供と資金供給を基に設計競技が行われていた (3-1) こと、多岐の分野にわたるメンバーかつ行政関係者以外のメンバーで運営が行われていた (3-4) こと、以上より EUROPAN の政府との独立性が窺えた。
- 2) 各支部の審査員は 7 ～ 9 人で構成されていて、そのうち外国籍の審査員が 2 ～ 3 人と規定されていること、本部や支部のメンバーとして関わっていなかった行政関係者が審査員として設計競技に参加していたこと、建築家の人数が増えている傾向があった (3-5)。
- 3) テーマが審査会により審議されていた (4-1) こと、テーマと敷地に相互関係を持たせていた (4-2) こと、以上より多国間の協働で行われる設計競技の体制が窺えた。

以上より、設計者が関わる前段階での運営体制を把握した。

謝辞

調査にあたって、本部で出版物や人事、実施プロセスに事務の立場として関わる Françoise Bonnat 氏の協力を得た。本研究は科学研究費基盤研究 (B) (2024-2027) 「質の高い建築の調達のための設計者選定手法に向けた行政と支援組織の体制に関する研究」(24K01060) (代表者：脇坂圭一) により実施した。

注釈

- 注 1) PAN : Programme Architecture Nouvelle 建築の質の水準を向上させるために行われていた実施コンペで 15 年間で 14 回開催された (<https://www.urbanisme-puca.gouv.fr/pan-programme-architecture-nouvelle-1972-1987-a736.html?lang=fr>) PUCA 公式 HP からまとめた。最終閲覧日 2024 年 11 月 14 日
- 注 2) PUCA : Plan Urbanisme Construction Architecture (https://www.urbanisme-puca.gouv.fr/the-puca-a187.html?lang=fr#H_Missions) 環境連帯移行省、文化省、高等教育・研究・イノベーション

- ン省の省庁によって行われる省庁間プログラム。フランス政府公式 HP からまとめた。最終閲覧日 2024 年 11 月 14 日
- 注 3) E17 において選定された敷地数を示す。ベルギー 1、フランス 10、スペイン 8、ドイツ 8 であった。EUROPAN 17 RESULTS からまとめた。
- 注 4) 2024 年 7 月 31 日にメールによりヒアリング調査を実施した。
- 注 5) Only countries which participate in the session are paying money to European Europe. Our budget at European Europe turns around 750 000 € for 2 years. メールから抜粋した。
- 注 6) EUROPAN 公式 HP の about-CONTACT からまとめた。
- 注 7) CAUE : CONSEILS D' ARCHITECTURE, D' URBANISME ET DE L' ENVIRONNEMENT アドバイザー、各県に配置、建築家、都市計画家、景観家など専門家に加え、事務職を含めた 10 人程度で構成、公務員ではない、財源は税金、文化省が所轄 (<https://www.fncaue.com/organisation-federale/>) CAUE 公式 HP からまとめた。最終閲覧日 2024 年 11 月 14 日
- 注 8) EPF : Les établissements publics fonciers 土地管理、財源は自治体からの収益や公的資金、環境連帯移行省が管轄 (<https://www.ecologie.gouv.fr/politiques-publiques/etablissements-publics-fonciers-epf>) 環境連帯移行省公式 HP からまとめた。最終閲覧日 2024 年 11 月 14 日
- 注 9) 自治体：自治体の連合体。In France when a city offer a site and wish to participate to a EUROPAN session, they often make a partnership with other local stakeholders (it can be CAUE, an agglomeration, a community of municipalities, a public land establishment (EPF)...). In Spain, the cities have as their main partner the Region. In Germany it depends of the site. It can be an IBA, a Land... メールから抜粋した。
- 注 10) IBA : Internationale Bauausstellung ドイツ政府が任命した自治体や都市の代表者（市長、副市長、代理人など）によって主導されている (<https://www.internationale-bauausstellungen.de/en/>) IBA 公式 HP からまとめた。最終閲覧日 2024 年 11 月 14 日

参考文献

- 文 1) 総務省「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」、総財務第 152 号、2024. 10. 10
- 文 2) 一般社団法人日本建築設計学会「建築設計 02 設計者選定を考える」第二特集設計者選定を考える、pp. 24-61、2016. 3. 31
- 文 3) 仙田満「知的生産者選定支援機構の設立の意味と展望」、建築雑誌 JABS、Vol. 136、No. 1752、pp. 12-13、2021 . 8
- 文 4) 山日康平・小野田泰明・山名善之・柳澤要・姥浦道生・坂口大洋「フランス、ドイツにみる公共建築の発注手法に関する研究」、日本建築学会大会学術講演梗概集（東海）、pp. 35-36、2012. 9
- 文 5) 渡辺美季子・小澤丈夫・平輝「建築設計競技 European のテーマ・敷地選定の特徴と変遷」、日本建築学会北海道支部研究報告集、巻号 92、pp. 325-328、2019 . 6
- 文 6) 一色駿汰・脇坂圭一・恒川和久「生涯学習施設再編に向けた利用者の意向に関する研究 その 1 西尾市における室構成の現状からみた結果」、東海支部研究報告集、巻号 62、pp193-196、2024. 2
- 文 7) 望月亮介・脇坂圭一・恒川和久「質の高い建築の調達に向けた設計者選定手法としての自治体と支援組織の協働体制について その 1 西尾市生涯学習施設における実施要領・作業項目・役割分担について」、東海支部研究報告集、巻号 94、pp. 431-438、2024 . 3
- 文 8) https://www.urbanisme-puca.gouv.fr/the-puca-a187.html?lang=fr#H_Missions 最終閲覧日 2024 年 11 月 14 日
- 文 9) <https://www.europan-europe.eu/en/> 最終閲覧日 2024 年 11 月 14 日
- 文 10) フランス政府文化局の公式 HP (<https://www.culture.gouv.fr/>) 最終閲覧日 2024 年 11 月 14 日
- 文 11) 白井裕子「フランス CAUE < 建築・都市・環境について助言する組織 > による景観形成」、公益社団法人日本都市計画学会都市計画論文集、Vol. 52、No. 2、2017. 10

表 7. E17 のテーマと敷地の関係性

E17 (2023-2024)		参加支部と敷地		
Theme	LIVING CITIES- 2	フランス	スペイン	ドイツ
Subtheme	1) Let the Birds Sing!	グルノーブル ゲランド ル・バレ マルセイユ メトロポール	バルセロナ チバ ナロン トレラベガ	インゴルシュタット
	2) Imagine a Second Life!	フルーランス ナント レンヌ ランス ベルネー	エイバル マドリッド	バート・ローベン シュタイン ライプツィヒ ミュンヘン レーゲンスブルク
	3) Think Tabula Non-Rasa!		イビサ アル・ブラ・ダ・ リュブラガート	ボルクム カッセル ベルリン
各国の敷地の合計 (ヶ)		10	8	8